

最近成功と不成功、失敗と成功とは何かを考えます。

おそらく失敗しようと思っている人はいないと思います。しかし、人は失敗します。何故失敗するのかと言えば失敗するから失敗するのです。

失敗には失敗の法則があり、成功には成功の法則があります。

法則は論語、仏教、キリスト教、西郷隆盛、松下幸之助、渋沢栄一、鈴木清一など先人が教えてくれています。

全ての人の生きる基本は同じです。

レンタルに行きます。その時自分を優先するのかお客様を優先するのかの違いです。レンタルのときまず「お客様を深く理解しよう」との思いが最も大切です。

セールスに行くときついつい契約することに思いがいきますが、その時「お客様のお困りごととは何か」を常に思いながらお客様と接するのです。

ケアも事務も倉庫も自分が優先しては成功から逃げられてしまいます。お客様に本当の意味で喜ばれれば値引きをしなくても納得して頂けます。

質の高いサービスを提供すれば、お客様は逃げません。

解約になり、売上が減少し、利益が少ないのは、まだお客様、世の中に納得して頂いていない証拠だと思えます。

連休中に論語とそろばん 渋沢栄一を読みました。

「高尚な人格をもって得た富や地位でなければ、完全な成功とはいわない」「邦に道あるに、貧しくしてかつ賤しきは恥なり。邦に道なきに、富みてかつ貴きは恥なり」

「会社には道があるのに貧しく、低い地位にいるのは恥であり、会社には道がないのに富み、高い地位にいるのは恥である」といい切っています。

ダスキン創業者鈴木精一は自分に対しては損と得が有れば損の道を行くこと「道と経済の合一」を説きました。

「損と得が有れば損の道を行くこと」「道と経済の合一」はみんな難しいと言います。意味が理解出来ないと言います。

おそらくダスキン企業集団の中でこの意味を理解している人は少ないのではないかと思います。

道と経済が別々だと思うからです、実は道と経済は一緒です。

道と経済は一つです。

自分のことよりも少しだけ周りを優先するだけなのです。ただそれだけです。

しかし何十年とダスキンに関わってきて本当の意味を理解していない人が多いのにびっくりします。

実はそれほど自分より周りを優先するのが難しいのです。

会社も同じです。会社が自分のことだけを考える会社であれば長続きしません。世の中は自分の利益だけを考える会社はキライなのです。

世の中に貢献する企業が好きなのです。

私たちは個人も企業もまず第一に自分を二の次にしてお客様に貢献出来る、世の中になくてはならない企業に是非ともなりたいと心から思っています。